



開館記念展Ⅳ

「北斎×富士 ～富嶽三十六景 富嶽百景 揃いぶみ～」

を、開催します



■企画展趣旨／見どころ

あっちもこっちも怒涛の富士山づくし！あなたの好きな富士をみつけてください。

「富嶽三十六景」と「富嶽百景」が揃いぶみ！今夏、当館でこの2タイトルが満を持して登場します。北斎の手により生み出された日本の誇る最高峰、富士山を、これでもかと怒涛のごとく皆様へ畳み掛ける企画展です。当館の企画展示室3階4階が全て北斎の富士の画のみで構成され、右を見ても左を見ても富士山という、まさに全方位＜富士づくし＞です。北斎の視点で大胆かつ繊細に描き分けられた富士山の数々、会期中に入れ替わり立ち代わり展示される全148点を通して、古くから日本人の生活に密着し溶け込んできた富士の姿をお伝えします。北斎描ける富士の姿を、様々な【北斎×富士】の作品からご覧いただき、あなたが見たことのある富士の姿、好きだと思ふ富士の姿を見つけてください。

■開催概要

展覧会名：開館記念展Ⅳ「北斎×富士 ～富嶽三十六景 富嶽百景 揃いぶみ～」

会期：2017年6月27日(火)～8月20日(日)

Ⅰ期・6月27日(火)～7月9日(日)

Ⅱ期・7月11日(火)～7月23日(日)

Ⅲ期・7月25日(火)～8月20日(日)

より多くの皆様にご覧いただく機会を設けるため、約2か月の開催期間中、作品保護の観点から展示替え期間を設け、3期に分けた展示を行います。

開館時間：9:30～17:30(入館は17:00まで)



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



休館日：毎週月曜日 ※7月17日(月・祝)開館、7月18日(火)休館

開館記念展Ⅳ 観覧料： AURORA (常設展示室) も観覧いただけます

	一般	高校生・大学生	65歳以上	中学生	障がい者
個人	1,200円	900円	900円	400円	400円
団体	960円	720円	720円	320円	320円

※団体は有料のお客様20名以上。

※小学生以下は無料。

※中学生・高校生・大学生(高専、専門学校、専修学校生含む)は生徒手帳または学生証をご提示ください。

※65歳以上の方は年齢を証明できるものをご提示ください。

※身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳などをお持ちの方及びその付添の方1名まで障がい者料金でご覧いただけます(入館の際は、身体障害者手帳などの提示をお願いします)。

※本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、常設展もご覧になれます。

■「富嶽三十六景」リーフレット進呈



本企画展では、当館が所蔵する北斎画「富嶽三十六景」全図のお披露目も兼ねているため、企画展観覧の方へ「富嶽三十六景」全46図を掲載した16ページの画集(リーフレット)を、入場券1枚につき1部進呈します。中央のホチキス止めを外せば、三役の一つ「富嶽三十六景 凱風快晴」の見開きページをご自宅にて飾ることも可能です。【北斎×富士】の雰囲気をご自宅に帰ってからぜひ楽しんでください。

■Ⅰ～Ⅲ期を通して観覧される方へ(年間パスポートのご案内)

今回の企画展では、より長く多くの来館者の方へ楽しんでいただける期間を設定していますが、作品保護の観点から、全148図を3期に分けて展示しています。今後の企画展も年間パスポートでの鑑賞が可能なため、この機会に年間パスポートをお求めください。

主催：墨田区・すみだ北斎美術館

公式サイト： <http://hokusai-museum.jp/fuji>

お問い合わせ：すみだ北斎美術館

〒130-0014 東京都墨田区亀沢2-7-2 電話 03-5777-8600(ハローダイヤル)

■展示構成

葛飾北斎といえば、真っ先に思い浮かべるほど「富嶽三十六景」は代表作として知られています。「富嶽三十六景」は、季節、時間、天候、場所などの違いで見え方の異なる富士を、



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



構図の奇抜さなどを交えながら描写した46図のシリーズです。北斎は、引き続き102図が収められた『富嶽百景』を出版します。本展覧会では、二つの代表作「富嶽三十六景」と『富嶽百景』の全148図を3期に分けて2章構成でご覧いただきます。北斎の技法が詰め込まれた富士の共演をお楽しみください。

1章 富嶽三十六景

季節・天候・時間場所など様々に見え方の異なる富士を描写したシリーズですが、特に名所と呼べない場所も描かれており、本シリーズは浮世絵に「風景画」というジャンルを確立させたとも言われています。奇抜な構図や風景画の中に描かれた風俗、意表を突く細かな人や鳥の姿など、目を凝らしてぜひ見つけてください。富嶽三十六景を、遠くから、また近くから楽しんでいただきたいと思います。

<三役>

<神奈川沖浪裏(Ⅰ期展示)><山下白雨(Ⅱ期展示)><凱風快晴(Ⅲ期展示)>は三役とも呼ばれ、北斎を代表する最も有名な3作品として、世界中で知られています。当館が所蔵する三役をⅠ～Ⅲ期に、1点毎に分けて展示します。なお、「山下白雨」の雷は当館のロゴマークの原案ともなっています。

<裏富士>

本章では「三役」のほか「構図」「自然」「風俗」の4つのテーマで展示します。36図の後に追加され、俗に「裏富士」と呼ばれる10図も今回、展示のテーマに分けてご覧いただきます。主線が藍で摺ってある36図に対し、よくよく見ると裏富士10図は、主線が墨で摺ってあります。会場では裏富士にもぜひご注目ください。

2章 富嶽百景

主に場所を基準に描き分けていた「富嶽三十六景」と比べ『富嶽百景』では、よりバラエティ豊かなテーマを描いています。今回は「富士の歴史(Ⅰ・Ⅱ期展示)」「自然(Ⅲ期展示)」「構図」「遠近」「伝説」「年中行事」「風景」「ユーモア」に分けて展示します。『富嶽百景』は本来、3冊の版本として出版されたものですが、本展では、本の中身全点を額装で、<Ⅰ・Ⅱ期><Ⅲ期>に分けて半分ずつご覧いただきます。当時、信頼の置ける彫師を登用するなど、本書にかける北斎の意気込みも感じる、北斎富士図の集大成とも言える作品です。

<墨の濃淡>

「富嶽三十六景」が写真で言うところのフルカラーだとしたら、「富嶽百景」はモノクロームの色調です。墨の濃淡で魅せる画は、描くテーマとも相まって百景独特の世界感が展開されています。一見して富士山を描いていることがわからない画にも必ず、富士の気配を感じます。

<ユーモア>

作品の中には、富士そのものを描かずに別の形で表現したり、笑いを誘ったりと、北斎のユーモアあふれる作品があります。『富嶽百景』三編の最終図も、北斎は一筆書きで描いた富



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

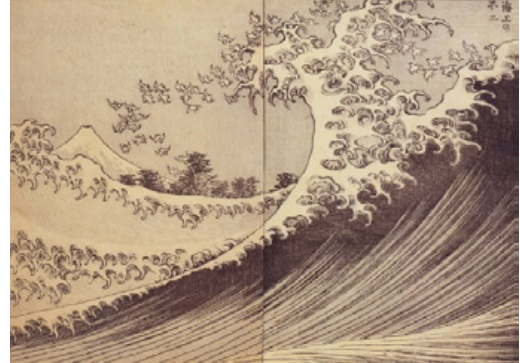


士で締めくくっています。見る人を驚かそうとした、北斎の機知に富んだ作品です。当時の江戸っ子の笑いセンスと、現代の私たちの笑いとの共通項をうかがい知ることができるでしょう。

■主な展示作品



1章 「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」(I期展示)



2章 『富嶽百景』二編より「海上の不二」(I・II期展示)



1章 「富嶽三十六景 山下白雨」(II期展示)



2章 『富嶽百景』二編より「夢の不二」(I・II期展示)



1章 「富嶽三十六景 凱風快晴」(III期展示)



2章 『富嶽百景』三編より「村雨の不二」(III期展示)



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



当館の魅力は、企画展とともに展開する、バラエティ豊かな展示や、関連イベントなど、地域・人・芸術など《つながる》に根差した連動企画にもあります。行楽だけでなく、お子様の夏休みの自由研究にも楽しんでいただける企画をご紹介します。

■館内での企画連動展示

<版画制作工程の展示>

場 所:3階ホワイエ(パネル展示)

3階のホワイエでは、浮世絵の制作工程をわかりやすくパネル展示と道具の展示等で解説します。同時に浮世絵版画ができるまでを、DVD映像でも紹介予定です。版画の制作・摺り上がりの工程をご覧いただいた上で実際の作品に触れると、浮世絵作品がまた違って見えるかもしれません。※実際に摺りをご覧いただく機会も設けました(※関連イベント3を参照)

<常設展での「富嶽三十六景」展示>

企画展と併せ、常設展でも連動した企画として「富嶽三十六景」の高精細レプリカを通常より多く、7点ずつ展示します。期間中は「三役」を合わせてご覧いただけるほか、企画展の展示替えで見ることのできない作品が並びます。4K モニタでは作品を拡大して細部までご鑑賞いただくことができ、また中央のタッチパネルでは、『富嶽百景』の富士山を探すクイズなどもあります。当館ならではのインタラクティブな展示を設けていますので、企画展とともに常設展もお楽しみください。

○展示予定(全て「富嶽三十六景」より)

【全期間:6/27(火)～8/20(日)】 凱風快晴、神奈川沖浪裏、山下白雨

【Ⅰ・Ⅱ期:6/27(火)～7/23(日)】 東海道程ヶ谷、東都浅草本願寺、武州玉川、遠江山中

【Ⅲ期:7/25(火)～8/20(日)】 甲州石班沢、駿州江尻、尾州不二見原、深川万年橋下

■関連イベント

各詳細は、ホームページを通じてお知らせします。

1.講演会 <当日受付・先着順>

テーマ:北斎の富士

講 師:浦上 満氏(『北斎漫画』コレクター)

場 所:MARUGEN100(当館講座室)

日 時:7月15日(土) 14時より1時間半程度

定 員:60名

料 金:無料(ただし、観覧券または年間パスポートが必要です)



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



2.スライドトーク

テーマ:「富嶽三十六景」と『富嶽百景』のみどころ

講師:当館学芸員

場所:MARUGEN100(当館講座室)

日時:7月8日(土)、8月5日(土) 各日とも14時より30分程度

定員:60名

料金:無料(ただし、観覧券または年間パスポートが必要です)

3.版画摺り実演

実際に浮世絵が摺り上がるまでを、わかりやすくご覧いただく機会を設けました。専門の職人さんによる、木版画摺りの実演会です。

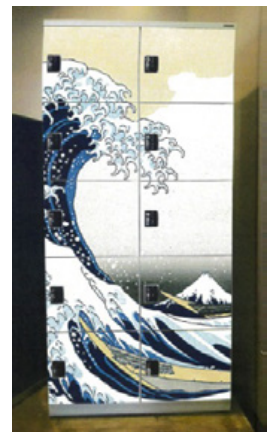
場所:MARUGEN100(当館講座室)

日時:8月11日(金・祝) 午前・午後の各1回を予定

料金:無料

■図書室やミュージアムショップでの連動企画

図書室では室内のロッカーや本棚を「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」の世界にラッピング!ドアを開けると大きな波が、立ち寄られた皆さまをお迎えます。ぜひ、北斎の世界をご体感ください。また、「富嶽三十六景」『富嶽百景』はもちろんのこと、他にも企画展作品にまつわる蔵書や、富士山の旅本、絶景写真集、歴史書、しかけ絵本、撮影術、短歌に至るまで、幅広く取り揃えています。ミュージアムショップでも、図書室と連動した関連書籍を販売予定です。



◇表記に関するご注意

当館では「富嶽三十六景」と『富嶽百景』について、以下のように区別して表記しています。

「富嶽三十六景」: <富>の字は、わかんむり。作品名のためカギかっこ(「」)で表記

『富嶽百景』 : <富>の字は、うかんむり。書籍名のため二重カギかっこ(『』)で表記



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



■今後の企画展予定

◇2017年9月9日～10月22日

特別展 大ダルマ制作 200年記念

「パフォーマー☆北斎 ～江戸と名古屋を駆ける～」

文化14(1817)年に名古屋で行われた、北斎による120畳大の大ダルマを描く大パフォーマンス。江戸と名古屋、両都市のにぎわいに一役買った「パフォーマー・北斎」としての姿を紹介する。



「北斎大画即書引札」
名古屋市博物館蔵

◇2017年11月21日～2018年1月21日

企画展「北斎のめでたい神様大集合(仮題)」

北斎とその門人たちが描くおめでたい神様や縁起物を一堂に集め、美術館が迎える2年目の新年をにぎやかに寿ぐ、開館1周年記念の展覧会。

◇2018年2月14日～2018年4月8日

企画展「Hokusai Beauty ～華やぐ江戸の女たち～(仮題)」

北斎は画風の変遷の中で、特徴的な美人画のスタイルを確立し、時流をとらえて多くの人々を魅了した。北斎や一門が描く、華やかな美人画の世界。

※今後も詳細が決まり次第、ご案内を行ってまいります



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館